

景況感調査 報告書（令和3年1月期）

臼杵商工会議所

<調査概要>

調査対象：臼杵商工会議所管内20事業所

業種：造船業や醸造業など臼杵市の基幹産業を含む9業種

造船業、醸造業、サービス業、小売業、建設業、保険業、卸売業、製造業、飲食業

調査方法：経営指導員によるヒアリング調査

【項目別景況判断】

売上と採算は、前回調査と比べD I値が悪化。見通しも悪化。

仕入単価は、悪化のD I値が1ポイント増加。見通しも悪化。

人材は過不足なしで横バイ。見通しは過剰気味。

業況は全体的に悪化。見通しも悪化。

資金繰りは前回調査より悪化。見通しも悪化。

項目	売上高 (完成工事)	採算	仕入単価 (上昇は-)	従業員 (過剰は-)	業況 (業界)	資金繰り
景況判断 前年同月比						
D I 値	-12	-11	-3	0	-13	-8
景況判断 3ヵ月見通し						
D I 値	-10	-11	-3	-4	-12	-8

※サンプル数が少ないため、調査した全業種をまとめてD I値を出しています。

※D I値とは、「増加・好転」の判断数から、「減少・悪化」したとする判断数を差し引いた値です。

(D I値が「+」の場合は「増加・好転」傾向、「-」の場合は「減少・悪化」傾向となります)

※「上向き矢印」は「増加・好転」を表し、「下向き矢印」は「減少・悪化」を表しています。

【いま直面している経営上の問題点】

順位	問題点	上位3位以内の回答数
1位	売上不振	10
2位	収益の低下	8
3位	需要の停滞	5

コメント等

製造業：雇用調整助成金の延長を強く希望。

小売業：コロナの影響で売上は減少(昨年度)。年末あたりから少しずつ通常に戻りつつある。
ナンセンスコールが減って良かった面もあり。

卸売業：首都圏を始めとする大消費地の緊急事態宣言発出とそれに伴う飲食店の時短要請の影響で出荷量が激減。この状況がいつまで続くか不明だが、季節商売のため回復は困難と思われる。

飲食業：GoToEat や地域のプレミアム商品券はありがたいが、換金までに時間がかかるため、資金繰りに影響が出るおそれがある。また、手間がかかっている。

【いま直面している経営上の問題点】（業種別・上位3つまで）

造船業

- ・売上不振
- ・競争の激化
- ・販売・受注単価の下落

醸造業

- ・需要の停滞
- ・収益の低下
- ・売上不振

建設業

- ・売上不振
- ・収益の低下
- ・人材不足

小売業

- ・売上不振
- ・収益の低下
- ・需要の停滞

サービス業

- ・売上不振
- ・資金繰り

飲食業

- ・売上不振
- ・収益の低下
- ・販売・受注単価の下落